令和２年度　日進市立梨の木小学校　　令和２．４．１

１　教育目標

（１） 本校の教育目標

≪校訓≫　『明日を拓く』の精神

「自らの成長を意図し、その実現に向けて今日を生きる」をもとに

自らが個性を発揮し、主体的・創造的に生きる、知・徳・体の調和のとれた児童の育成をめざす。

《めざす児童像》

よく考える子〈自ら学び、深く考え、広い視野をもって主体的に行動する子〉《知》
やさしい子〈礼節を重んじ、自らを律し、他を思いやるこころ豊かな子〉　《徳》
つよい子〈いのちを尊び、こころやからだを鍛え、たくましく生きる子〉　《体》

（２）経営方針

ア　学年に応じた教育目標の具現化に努め、自ら考え、実践できる児童の育成を図る。
イ　児童理解に努め、一人一人の個性を生かし、伸長させる指導に努める。
ウ　子どもの自立を図る特別支援教育を全校体制で推進し、個々の児童のニーズに合った支援を行う。
エ　新学習指導要領の趣旨を踏まえた現職教育の充実を図り、資質向上と専門性の確立に努める。
オ　家庭や地域社会との連携を強め、信頼される学校づくりに努める。また、多様な地域の人材に学校運営に関わってもらう「チーム梨の木小」体制の充実を図る。

（３）本年度の重点努力目標

確かな学力　**「学ぶ意欲にあふれ、力を高め合おうとするなしっこの育成」**

ア　学びの基盤づくり・分かる授業づくりに努めるとともに、指導法や学習形態などを工夫し、個に応じた指導・支援を適切に行う。学習習慣や学習規律など６年間の積み上げを児童自身が実感できるように働きかける。
イ　体験的・問題解決的な学習、言語活動の充実を図ることにより、学ぶ意欲を高め、主体的・対話的な学びに取り組む能力を身に付けさせる。

豊かな人間性　**「やさしい心で人と接し、思いやりあふれるなしっこの育成」**

ウ　あらゆる教育活動を通して道徳教育を推進する中で、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
エ　人とかかわることを重視した活動をはじめ、多くの体験活動や行事を通して、自他を大切にする心を育てる。
オ　異学年児童、高齢者や地域の方との交流の機会を増やし、相手を理解し、思いやる気持ちを育てる。

健康・体力　**「いのちを大切にし、こころもからだもつよいなしっこの育成」**

カ　体育の授業（体つくり運動を継続して行い、筋力や体力の向上に取り組む）や体育的活動、健康教育の充実を図り、健康の保持増進のための実践力を高めるなど、正しい知識と望ましい習慣を身に付けさせ、心身の健康に対する自己管理能力を養う。
キ　身の回りの生活安全・交通安全・防災に関する指導を重視し、自分の命は自分で守ることができる能力・態度を育成する。

業務改善の推進　**「教職員が健康的に教育活動に従事できる環境の整備」**

ク　コンピューターによる校務支援システムを有効に活用する。また、学校現場で専門職の力を活用したり、地域が学校を応援する体制を整備したりして、教職員の負担軽減を図る。